

論文投稿の際は 粗悪学術誌

ハゲタカジャーナル にご注意ください！

昨今、著者から論文投稿料を徴収する、オープンアクセス形式の査読誌が増加しています。しかしその中には、「ハゲタカジャーナル」とよばれる悪質なジャーナルが増加しており、注意が必要です。

Q：ハゲタカジャーナルとはどのようなジャーナルなのですか？

A：査読誌であることをうたいながら、著者から論文投稿料を得ることのみを目的として、適切な査読を行わない、低品質のオープンアクセス形式のジャーナルです。

京都大学図書館機構
2019年1月

2019年2月4日改訂

Q：ハゲタカジャーナルに投稿すると、どのような問題があるのですか？

A：ハゲタカジャーナルはすでに社会問題になりつつあります。
そこに投稿してしまった場合、下記の問題が起こりえます。

- ・「ハゲタカジャーナルに論文を投稿した研究者」として**著者自身の信頼・評価が低下**する恐れがある。
- ・適切な査読を受けていないために論文の完成度が低くなり、他の研究者から**引用される可能性が低下**する。
- ・**投稿料に関してトラブルが発生**する恐れがある。
- ・いったん投稿をしてしまうと、出版社が投稿撤回を認めず、**他のジャーナルへの再投稿ができなくなる**恐れがある。
- ・論文の**長期的なアクセスが担保されない**恐れがある。
- ・原資が**国民の税金など公的資金**である投稿料が、悪質な出版社に騙し取られてしまう。
- ・ハゲタカジャーナルの論文が増えると、コミュニティ内で「**査読済み**」論文全体の**信頼性が揺らいでしまう**。

Kearney M. H.ほか. Predatory publishing: What authors need to know. Research in Nursing and Health. 2015, vol. 38, no. 1, p. 1-3.

Q：どういうジャーナルがハゲタカジャーナルなのですか？

A：ハゲタカジャーナルかどうかを断定することは難しく、
人により判断が分かれる部分も少なくありません。
しかし、概ね次のような特徴を持つジャーナルは注意が必要です。

- ・掲載されている論文に**不審な点が多い**。もしくは対象分野と大きくかけ離れた論文が掲載されている。
- ・そのジャーナルの出版社が、**短期間に不自然なまでに多くのジャーナルを刊行**している。
- ・ジャーナルのウェブサイトに、**Editorial Officeの住所が記載されていない**。
- ・ジャーナルのウェブサイトに、**無関係で学術的ではない広告が掲載**されている。
- ・**編集責任者が明確でない**。
- ・ジャーナルの**名称やロゴが、有名なものに酷似**している。
- ・**査読の時間が極端に短い**ことを確約している。
- ・論文の**著作権の取り扱いが明示されていない**。もしくは著作権は出版社が保持すると記載されている。
- ・**論文投稿料が明示されていない**。
- ・**研究不正や利益相反についての方針が明記されていない**。
- ・ジャーナルが**刊行停止になった際、論文へのアクセスがどうなるかが明記されていない**。等

Eriksson Stefan, Helgesson Gert. The false academy: predatory publishing in science and bioethics. Medicine Health Care and Philosophy. 2017, vol. 20, no. 2, p. 163-170.

Q：ハゲタカジャーナルへの投稿を防ぐにはどうすれば良いですか？

A：健全なジャーナルをまとめた下記のホワイトリスト、チェックリストを
参照してください。

ホワイトリスト	DOAJ (Directory of Open Access Journals)	https://doaj.org
	Quality Open Access Market (QOAM)	https://www.qoam.eu/journals
	Web of Science	http://mjl.clarivate.com/
チェックリスト	Think Check Submit	https://thinkchecksubmit.org/